

5月30日（木）全校集会

校長講話（不審者対応・熱中症対応について）

素敵な全校合唱「おはよう」が皆さんの思いが一つになって、伝わってきました。

第1回目の全校朝会の日、校長先生の出張と重なり、教頭先生にお願いしたので、今日が今年初めての全校朝会での校長先生のお話です。

さて、今日は、
「気づき」→「考え」→「行動する」
ことについて考えてみましょう。

何かうまくいかないことがあったときには、この3つのどこかでつまづいていることが多いようです。

それが「気づき」がないからなのか、「考え」が足りないのか、「行動」に至っていないのか。どこにつまづきがあるのか考えると、どうすればいいのかが、見えてきます。

28日の火曜日に、川崎市でとても痛ましい事件がありました。

通学途中のスクールバス待ちの小学生が襲われ19人が殺傷されました。小学校6年生の栗林華子さんと保護者の小山智史さんがなくなり、小学生も亡くなった栗林さん以外でも15名の方々が重軽傷を負いました。本当に悲しくて残念なことです。

さて、このことと「気づき」⇒「考え」⇒「行動する」をつないで考えてみましょう。

もし、襲ってきた人を「おかしな人」「変な人」と「気づく」ことができたら・・・

「おかしな人」「変な人」と気づいた人が、
「離れよう」「少しでも距離をとったり、近づかないようにしよう」と考えることができたら・・・

「おかしな人がいる」「少し離れよう」と思ったり考えたりした人が
「実際に離れる行動を起こすことができたら」
「子どもたちがいるので離れて」などと声をかけたり、「子どもたちに注意をうながす行動」ができたら・・・

栗林さんの命だけは助かったかもしれません。

不審者が襲ってきたり、大災害がおきて「怖いよ～」とあせって、パニックになったら、どこが危ないか気づいたり、どうすればいいか落ち着いて考えたりするのは難しいです。

ですから、平和なときに、普通の時に、危険なところはないかな？
怖い・危ない思いをしないためには、どうすれば良いかな？

気づき **考える**ところまでしておきましょう。

そうしたら、いざ、危ない！という時に「行動」できるかもしれません。いつも、危険なところはないか、気づくための**アンテナを高く**して
いてくださいね。

最後になりますが、今の時期、熱中症にも気をつけましょう。
体が暑さに慣れていないこの時期は熱中症になりやすい時期です。
暑い日は、室内でも熱中症にかかります。次の点を守ってください。

- 1 環境条件に合わせた運動、水分補給を行う。
- 2 暑さに徐々に慣らす。
- 3 個人の条件を考慮する(暑さに弱い、体力が低い、肥満傾向など)。暑さの感じ方は人それぞれ異なる。
- 4 服装に気をつける。
- 5 具合が悪くなった場合は早めに運動を中止し、必要な処置をする。
 - ・涼しい場所へ移動
 - ・水分補給
 - ・衣服を緩め、体を冷やす(くびや、脇の下、足の付根が効果的)**症状が改善しない場合はすぐに病院へ！**